



みんなわくわく！ 学校わくわく！ ふるさとわくわく！

「わくわく！」 第4号



令和8年5月28日(木)発行 (中原小ホームページQRコードです。学校生活のブログ等ご覧いただけます。)

いよいよ「きよらっ子ペイ」が始まります！

全校児童の皆さんへ

「きよらっ子ペイ2026」スタートのご案内 ～ペイをたくさんためて景品をゲットしよう～

昨年度までりんどうヶ丘小学校が取り組んでいた「りんペイ」活動を、今年度より「きよらっ子ペイ」と名称変更し、町内すべての小学校で実施することになりました。

「きよらっ子ペイ」(通称きよペイ)活動とは、各学校の児童会活動などにおいて、さまざまな取組に対して目標設定をし、その達成状況に応じて「きよらっ子ペイ」を発行することで意欲的に活動できるようにするとともに、学校の活性化につなげることを目的としています。

つきましては、今後、各担当の先生が企画したキャンペーンで、どしどし「きよペイ」をゲットしてほしいと思います。ちなみに、校長室からの特別企画キャンペーンは、以下のとおりです。

1 キャンペーンの名称 校長室検定「漢字検定」及び「算数検定」

2 内容

- 校長室から、前期は、6月から月2回のペースで各学年ごとに「漢字検定」の練習問題を出します。
- 後期は、南小国町が全校一斉に取り組む、2月12日に実施予定の「算数検定」に向けて月2回のペースで各学年ごとに「算数検定」の練習問題を出します。
- 配付された「漢字検定」「算数検定」の練習問題を提出したら「2ペイ」もらえます。
- さらに、間違いをやり直したら「3ペイ」もらえます。提出時に満点だと、その時点で「5ペイ」もらえます。
- ゲットした「きよペイ」は、各自「きよペイ貯金箱」に入れて保管します。名前のない「きよペイ」は無効になります。
- たまった「きよペイ」を使って、前期の終わりと後期の終わりの年間2回開店する「きよペイマート」でお買い物を楽しんでください。お菓子や小物などがあります。

※ このような要領で、今後、たとえば、図書委員会から読書量に応じた「きよペイ」付与をはじめ、各委員会や先生方から、さまざまなキャンペーンの案内がありますので、どしどし「きよペイ」をゲットしていきましょう。



りん小
土井 校長



市原小
井上 校長



南小国中
今村 校長



中原小
橋原

<めざす家庭・地域像>

笑顔と元気がいっぱいの家庭・地域！ 安心して生活できる家庭・地域！ 子どもの夢実現を支える家庭・地域！

「きよらっ子ペイ」活動による学校の活性化プロジェクトについて

1 ねらい

各学校の児童会活動などにおいて、さまざまな取組に対して目標設定をし、その達成状況に応じて「きよらっ子ペイ」を発行することで意欲的に活動できるようにするとともに、学校の活性化につなげる。

2 きよらっ子ペイ(通称「きよペイ」)の種類

「2ペイ」「3ペイ」「5ペイ」「10ペイ」の4種類

3 活動例

<図書委員会>

- 1ヶ月ごとに図書室の本を10冊以上読んだら「5ペイ」、20冊以上読んだら「10ペイ」
- 年間読書冊数目標を達成したら「10ペイ」

<健康委員会>

- 「歯磨き強化週間」において1日3回を一週間続けたらパーフェクト賞で「10ペイ」、9割以上できたら優秀賞で「5ペイ」

<体育委員会>

- 持久走大会前に、日本一周マラソンカードなどを活用して、1周ごとに「2ペイ」ずつ

<環境委員会>

- 年に数回、掃除コンクールやエコポイント大作戦などを設定し、学級目標が達成できたら、その状況に応じてその学級全員に「0ペイ」

※ これは、あくまで参考例です。それぞれの学校で、学校の課題解決に向けた活動を創意工夫して展開するとともに目標設定を行い、その達成状況に応じて「ペイ」を発行してください。以前は、ご褒美のシールやハンコだったものが「きよペイ」に変わるというものです。

4 きよらっ子ペイ銀行(通称「きよペイ銀行」)

- 各学校の職員室の前をはじめ、適当なスペースがある場所に、給食の牛乳パックを再利用して作った「きよペイ貯金箱」をならべて、随時、各担当者が取り組み終了ごとに「きよペイ」を入れていく。

5 きよペイマート

- 貯まった「きよペイ」の使い道として、前期の終わりと後期の終わりの年に2回、各学校で「きよペイマート」を開催する。
- 保護者や地域の方々から、各家庭に眠っている不要なもので、かつ子どもが喜びそうなものを提供していただき、商品とする。文房具でもキーホルダーでもクレーンゲームで獲得したものであってもかまわない。
- 商品数が不足する場合は、後援会予算から購入して補充することや、「プレミアムきよペイ」(例えば昼休みに校長室のソファで読書ができる券)などを発行することも考えられるので、各学校の実情に合わせて工夫する。
- 集まった商品は、5ペイ、10ペイ、20ペイ、30ペイ、50ペイ、100ペイなどに振り分け、子どもたちが自由に買い物を楽しむことができるものとする。

6 その他

- 令和8年度は、3つの小学校で先行実施し、中学校は内容・方法を検討する。